

619) 拝啓 三遊亭小遊三師匠 殿

毎日お暑いことをごさいやすが、懐の方は悲しいことに肌寒い一方でございやす。

さて観光地軽井沢には女性の観光客が多いからでもありやしょうか、さすがに有料トイレが多いようで、特に軽井沢銀座には公共トイレの他に、2箇所有料トイレがありやす。一つは『軽井沢観光会館』の中に、もう一つは銀座通りを渡った反対側の、教会入り口という看板のかかったアーケードの奥の左側でござんす。両方とも使用料は100円だから、マア、マア妥当な金額でござんしょう。

観光会館の方は問題ないのですが、アーケードの方には意外な落とし穴がありやす。トイレの入り口には両替機がついていおり、100円コインにするための準備は万全なのでありやすが、この両替機から1mも離れていないところに雨水を吸収するための、どでかいマンホールがありやして、問題はこのマンホール。マンホールの蓋はかなり大きな鉄格子状のもので、80cm四方ぐらいいはあるでしょうか。

女性たちは両替機で、500円なり1,000円札なりを100円玉にくずして、コインを財布へ戻そうとしてちょっと手元がもたつくと、コインはチャリン、チャリン、チャリンという落下音を伴いながら、コロコロコロコロと転がってこの鉄格子のマンホールの中にポツチャンと吸い込まれてゆく仕掛けになっているのであります。バッチャンも手元が狂って300円ばかりのコインをこのマンホールに予期せず寄付してしまって、ちよいと嘆いたわけでありやす。しかも蓋は男一人でも動かせないほど重いもので出来ている。今までにどれだけの女性がこのマンホールに小銭を吸い込まれて悔しい思いをしたことでありやしょうか。マンホールとは言え、さすがに万札は無いことから、100円玉の賽銭箱と呼ぶべきものかもしれやせんけどね。

そこで師匠に申し上げたい。小銭が必要なときは、この賽銭箱でっせ。ちょっと覗いただけでも、5~6枚の100円玉が見えてまっせ。必要な道具は1m程度のバールが一本あれば、1,000円や2,000円ぐらいいは稼ぎ出せること請け合い。なんだったら今度ご案内しまっせ。バールを杖代わりにジジー2人に変装して、変装しなくてもドッチ道ジジーか、夏が終わって賽銭箱が満杯になった頃、ご一緒にチャレンジしやせんか。5,000円ぐらいいけるかもしれやせんぜ... ただしこの話は他言無用、大金がかかっておりやすから、師匠とアッシだけの秘密にしといてください。

※日曜日の17時半頃から日本テレビでは『笑点』という番組がある。ここで三遊亭小遊三師匠が金が無くなると自動販売機の下に手を入れてコインが落ちていないか、探してみるという話がよく登場する。